【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【公表番号】特表2007-530238(P2007-530238A)
【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2007-042
【出願番号】特願2007-506343(P2007-506343)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/66　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/66

【誤訳訂正書】
【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一方の端部側の足前部、他方の端部側の足後部、および前記足前部と前記足後部のあいだに延在する足中央部を有する長さ方向に延在する足と、
前記足に取り付けられた足関節と、
前記足関節から上向きに延出する直立した脛脛部とを備える下肢補綴装置であって、
前記足関節および前記脛脛部が弾性部材により形成され、該弾性部材が前記足の前方に向けて突出した湾曲部を介して前記足から上向きに延出し、さらに、前記弾性部材が、前記足の前記足前部と一体に形成された連結要素を介して前記足に取り付けられた下肢補綴装置。
【請求項２】
前記連結要素が、前記足前部から片持ち梁の形態で後方に延出し、前記足の前記足中央部および前記足後部の一部の上に位置する請求項１記載の装置。
【請求項３】
前記足の前記足後部および前記足中央部が一体に形成され、かつ、一体に形成された前記足前部および前記連結要素に連結された請求項２記載の装置。
【請求項４】
前記弾性部材の下端が前記足の後方に湾曲した請求項１記載の装置。
【請求項５】
前記連結要素が、前記弾性部材の前記逆方向に湾曲した下部を格納する請求項４記載の装置。
【請求項６】
前記弾性部材の前記足の後方に湾曲した下端が、前記湾曲部を形成するために渦巻の形状である請求項４記載の装置。
【請求項７】
前記弾性部材の前記渦巻の半径方向内側の端部が、前記連結要素に固締された請求項６記載の装置。
【請求項８】
前記連結要素が、前記弾性部材の背屈を制限するための手段として機能する停止部を含む請求項１記載の装置。

【請求項９】
人の足と脚下部の形状の化粧カバーをさらに備え、該化粧カバーが、前記足、前記足関節、および前記腓脛部の少なくとも下端の上に配置され、かつ前記腓脛部が、前記化粧カバー内で前記足から上向きに延出する請求項１記載の装置。
【請求項１０】
前記装置に力を負荷する際にエネルギーを蓄え、蓄積エネルギーを力からの解放時に返還して、歩行中に前記装置が推進力として発生した動力を増加させるために前記装置に装着された後部腓装置をさらに備える請求項１記載の装置。
【請求項１１】
前記後部腓装置が、前記腓脛部の上部と前記装置の下部のあいだに延在する少なくとも一つの長い部材と、前記腓脛部の上端の前方への運動に応答して前記少なくとも一つの長い部材によって弾性的に付勢されてエネルギーを蓄える少なくとも一つのばねとを含み、当該ばねの一端が前記腓脛部に保持され、他端が前記長い部材に連結されてなる請求項１０記載の装置。
【請求項１２】
前記少なくとも一つのばねがコイルばねであり、前記コイルばねが、歩行中の前記腓脛部の前記上端の前方への運動に応答して弾性的に伸張することによってエネルギーを蓄える請求項１１記載の装置。
【請求項１３】
一方の端部側の足前部、他方の端部側の足後部、および前記足前部と前記足後部のあいだに延在する足中央部を有する長さ方向に延在する足竜骨を備える義足であって、
前記足竜骨に取り付けられた腓脛部の下部が前記義足の弾性を有する足関節を形成し、また、前記腓脛部が、弾性を有する腓脛部の前方に向けて、当該義足の前方に突出した湾曲部を介して前記足竜骨から上向きに延出し、直立した弾性を有する腓脛部とをさらに備え、
前記腓脛部が、前記足竜骨の前記足前部と一体に形成された連結要素を介して前記足竜骨に取り付けられた義足。
【請求項１４】
前記連結要素が、前記足前部から片持ち梁の形態で後方に延出し、前記足竜骨の前記足中央部および前記足後部の一部の上に位置する請求項１３記載の義足。
【請求項１５】
前記足竜骨の前記足後部と前記足中央部が一体に形成され、かつ、一体に形成された前記足前部および前記連結要素に連結された請求項１４記載の義足。
【請求項１６】
前記腓脛部の下部が、前記義足の前方に湾曲した請求項１３記載の義足。
【請求項１７】
前記連結要素が、前記腓脛部の前記義足の前方に湾曲した下部を格納する請求項１６記載の義足。
【請求項１８】
前記腓脛部の前記義足の前方に湾曲した下部が渦巻の形状である請求項１６記載の義足。
【請求項１９】
前記腓脛部の前記渦巻の半径方向内側の端部が、前記連結要素に固締された請求項１８記載の義足。
【請求項２０】
前記連結要素が、前記腓脛部の背屈を制限するための手段として機能する停止部を含む請求項１３記載の義足。
【請求項２１】
人の足と脚下部の形状の化粧カバーをさらに備え、前記化粧カバーが、前記足竜骨および前記腓脛部の少なくとも上に配置されており、さらに、前記腓脛部が、前記化粧カバー内で前記足竜骨から上向きに延出する請求項１３記載の義足。

【請求項２２】
前記義足に力を負荷する際にエネルギーを蓄え、蓄積エネルギーを力からの解放時に返還して、歩行中に義足によって推進力として発生させられた動力を増加させるために前記義足に装着された後部腓装置をさらに備える請求項１３記載の義足。
【請求項２３】
前記後部腓装置が、前記腓脛部の上部と前記義足の下部とのあいだに延在する少なくとも一つの長い部材と、前記腓脛部の上端の前方への運動に応答して前記少なくとも一つの長い部材によって弾性的に付勢されてエネルギーを蓄える少なくとも一つのばねとを含み、当該ばねの一端が前記腓脛部に保持され、他端が前記長い部材に連結されてなる請求項２２記載の義足。
【請求項２４】
前記少なくとも一つのばねが、自由端が前記長い部材に連結されたコイルばねを含み、前記コイルばねが、歩行中の前記腓脛部の前記上端の前方への運動に応答して弾性的に伸張することによってエネルギーを蓄える請求項２３記載の義足。
【請求項２５】
長さ方向に延在する足と、
前記足に取り付けられた足関節と、
前記足関節から上向きに延出した腓脛部とを備える下肢補綴装置であって、
前記足関節および前記腓脛部が弾性部材を用いて形成され、前記腓脛部が前記足関節を形成するために前記足に取り付けられた義足の前方に湾曲した下部を有するとともに、前記弾性部材の前方に向けて突出した湾曲する湾曲部を介して前記足から上向きに延出し、さらに、前記弾性部材が、前記弾性部材の前記義足の前方に湾曲した下部を格納する連結要素を介して前記足に取り付けられた下肢補綴装置。
【請求項２６】
前記弾性部材の前記義足の前方に湾曲した下部が、前記湾曲部を形成するために渦巻の形状である請求項２５記載の装置。
【請求項２７】
前記弾性部材の前記渦巻の半径方向内側の端部が、前記連結要素に固締された請求項２６記載の装置。
【請求項２８】
前記連結要素が、前記弾性部材の背屈を制限するための停止部を含む請求項２５記載の装置。
【請求項２９】
人の足と脚下部の形状の化粧カバーをさらに備え、前記化粧カバーが、前記足、前記足関節、および前記腓脛部の少なくとも下端の上に配置され、さらに、前記腓脛部が、前記化粧カバー内で前記足から上向きに延出する請求項２５記載の装置。
【請求項３０】
前記連結要素および前記足が一体に形成された請求項２５記載の装置。
【請求項３１】
前記連結要素が、前記弾性部材の前記義足の前方に湾曲した下端を格納する前方を向いた凹面部を形成している請求項２５記載の装置。
【請求項３２】
前記連結要素がその後端で前記足に結合された請求項２５記載の装置。
【請求項３３】
前記装置に力を負荷する際にエネルギーを蓄え、蓄積エネルギーを力からの解放時に返還して、歩行中に義足が推進力として発生した動力を増加させるために前記装置に装着された後部腓装置をさらに備える請求項２５記載の装置。
【請求項３４】
前記後部腓装置が、前記腓脛部の上部と前記装置の下部のあいだに延在する少なくとも一つの長い部材と、前記腓脛部の前記上部の前方への運動に応答して前記少なくとも一つの

長い部材によって弾性的に付勢されてエネルギーを蓄える少なくとも一つのばねとを含む請求項３３記載の装置。
【請求項３５】
前記少なくとも一つのばねが、自由端が前記長い部材に連結されたコイルばねを含み、前記コイルばねが、歩行中の前記腓脛部の前記上部の前方への運動に応答して弾性的に伸張することによってエネルギーを蓄える請求項３４記載の装置。
【請求項３６】
長さ方向に延在する足竜骨を備える義足であって、
該義足の前方に湾曲した下部が設けられた直立した腓脛部とをさらに備え、
前記腓脛部の前記足竜骨への取り付け部が前記義足の足関節を形成し、また、前記腓脛部は、前記腓脛部の前方に向けて突出した湾曲部を介して前記足竜骨から上向きに延出し、前記腓脛部が、前記腓脛部の前記義足の前方に湾曲した下部を格納する連結要素を介して前記足竜骨に取り付けられた義足。
【請求項３７】
前記腓脛部の前記逆方向に湾曲した下部が、渦巻の形状である請求項３６記載の義足。
【請求項３８】
前記腓脛部の前記渦巻の半径方向内側の端部が、前記連結要素に固締された請求項３７記載の義足。
【請求項３９】
前記連結要素が、前記腓脛部の背屈を制限するための停止部を含む請求項３６記載の義足。
【請求項４０】
人の足と脚下部の形状の化粧カバーをさらに備え、該化粧カバーが、前記足竜骨と、前記腓脛部の少なくとも下部の周りに配置されており、さらに、前記腓脛部が、前記化粧カバー内で前記足竜骨から上向きに延出する請求項３６記載の義足。
【請求項４１】
前記連結要素および前記足竜骨が一体に形成された請求項３６記載の義足。
【請求項４２】
前記連結要素が、前記腓脛部の前記逆方向に湾曲した下端を格納する前方を向いた凹面部を形成している請求項３６記載の義足。
【請求項４３】
前記連結要素がその後端で前記足竜骨に結合された請求項３６記載の義足。
【請求項４４】
前記義足に力を負荷する際にエネルギーを蓄え、蓄積エネルギーを力からの解放時に返還して、歩行中に義足が推進力として発生した動力を増加させるために前記義足に装着された後部腓装置をさらに備える請求項３６記載の義足。
【請求項４５】
前記後部腓装置が、前記腓脛部の上部と前記義足の下部のあいだに延在する少なくとも一つの長い部材と、前記腓脛部の上端の前方への運動に応答して前記少なくとも一つの長い部材によって弾性的に付勢されてエネルギーを蓄える少なくとも一つのばねとを含む請求項４４記載の義足。
【請求項４６】
前記少なくとも一つのばねが、自由端が前記長い部材に連結されたコイルばねを含み、前記コイルばねが、歩行中の前記腓脛部の前記上部の前方への運動に応答して弾性的に伸張することによってエネルギーを蓄える請求項４５記載の義足。